



令和5年度 加茂中学校の教育

「Society5.0」時代、
「予測困難な時代」に
おける「令和の日本型
学校教育」の構築

- 国・新潟県・加茂市が目指す子ども像
加茂市・新潟県・日本を愛し、主体性と協働性、実践力を身に付け、市・県・日本や世界をリードする人材の育成
- 社会をたくましく生き抜き抜く力、未来を切り拓く力の育成
 - 郷土を愛し、郷土を担う人材育成
 - 豊かな心で、たくましく実践する子ども

笑顔
あふれるまち
加茂市

【加茂中学校教育目標】

明るく たくましい 実践力のある生徒

【重点目標】

- 主体的・協働的に課題を解決していく力の育成
- 自分の意見や考えを伝え合い、共に高め合う能力の育成

【よさを伸ばす】

- 生徒 「明るい」、「素直」。「一生懸命」、「主体性」が育ってきている。
- 伝統の生徒会活動
- 「加茂中愛(愛校心)」「加茂中・加茂が好き」な生徒
- 「加茂中・加茂中生に期待する」協力的な地域
- 前向きで、丁寧な教育

【方向性】

【課題解決を目指す】

- 自分で自分たちで、課題を解決していく力の育成
- 発表力、情報伝達力などコミュニケーション能力の育成
- 夢や志をもち、粘り強く挑戦する意欲を育てる
- 他を思いやり、共に関わり合い成長する
- 自ら課題を解決する場面、培った力を実践する場面を意図的に設定

【社会に開かれた教育課程を実現する】

- 「地域とともに歩む学校づくり」に向けて、外部資源・教育力を活用する機会を増やす。
- 地域との関わり(発信・交流・貢献活動)を通して、地域全体で加茂中生を育てる。

【教育目標の達成・課題の解決に向けて】

- 1 同じ方向性 全教職員、全校生徒が、加茂中学校教育目標や方向性を意識し、同じ方向に向かう。
- 2 各指導部の実践 各指導部が、教育目標や方向性に基づき、指導計画を立案、実践、連携する。
- 3 教職員の姿勢 「明るく、前向きに、丁寧に」、前向きで温かい丁寧な教育を実践・継続する。

5つの柱

GIGA スクール構想の推進

- 1 授業 学校・学習の大黒柱。プロとして生徒を伸ばす。
- 2 学級 認め合う温かい学級。生徒とともに。「普段と違う」に気づく学級、学年、教科担任。
- 3 生徒会 自主性・実践力を伸ばす。「教師作成 生徒実行」→「生徒作成・実行 教師支援」
- 4 部活動 ガイドラインの確実な実施。ルールとマナーを徹底する。楽しい。メリハリ。
- 5 家庭・地域との連携 学校と家庭・地域は共同体。【伝統ある加茂中への思い・期待に答える】

- 研修 「教師は伸ばしてなんぼ、伸びてなんぼ」
 - 時間 「時間を守る」意識が徹底している学校・学年・学級・部活等は、多少のことでは崩れない「始まり」と「終わり」(教師が守る)
- 自由ながらに規律あり
私欲なければ平らかに

「一生懸命に挑戦し、自分の、自分たちの力と可能性を伸ばし、生き抜く『たくましさ』の育成を目指す。『学校は生徒、地域のためにある』ことを全教育活動の原点に据え、何をするのがベストなのかを保護者や地域の方々とともに考え、実践する。方向性を同じく知恵と力を出し合い、生徒が主体的に取り組む学校行事、生き生きとした日常生活、地域の教育力を活用した関わり合いを通して、地域とともに歩む学校づくりを進める。「笑顔」と「ありがとう」があふれ、温かさで力強さのある学校づくりを目指したい。

○明るく 前向きに 丁寧に